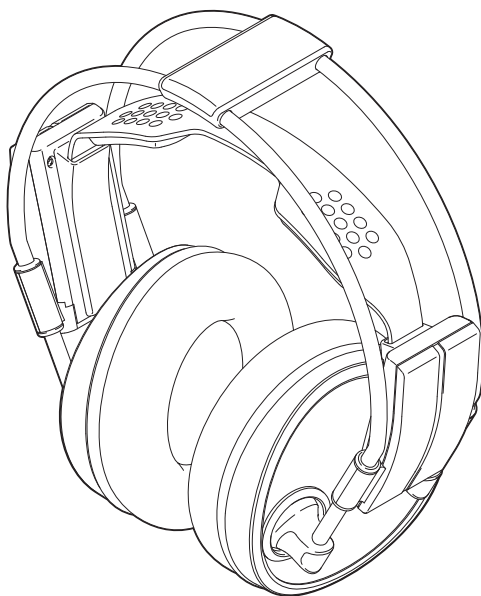
SE-DRS3000C用増設ヘッドホン

SE-DHP3000

このたびは、弊社の製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの「取扱説明書」を最後までよくお読みのうえ、『安全上のご注意』に従い正しくお使いください。お読みになったあとは「保証書」、「サービス窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。また、この製品は一般家庭用として作られたものです。営業目的で使用し故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

取扱説明書

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りください。

●ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

この安全上のご注意、取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。

この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

この表示の欄は「人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

【設置】
電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

【使用方法】
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電池についての安全上のご注意

**液漏れ・破損・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、
下記の注意事項を必ずお守りください。**

本機では以下の電池をお使いいただけます。

● 充電式電池
専用充電式リチウムイオン電池 角形

⚠ 危険

充電式電池の液が漏れたときは・・・

● 素手で液を触らない
● 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
● 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

⚠ 危険 充電式電池について

● 付属の充電式電池を他の機器に使用しない。
● 機器の表示に合わせて+と−を正しく入れる。
● 本機以外で充電しない。
● 火の中に入れない。分解、加熱しない。
● 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温になる場所で使用・保管・放置しない。
● コイン、キー、ネックレスなどの貴金属と一緒に携帯・保管しない。
● ショートさせない。
● 液漏れした電池は使わない。
● 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
● 長時間使用しないときは取り外す。

⚠ 注意

● 使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ
http://www.baj.or.jp/を参照してください。

液漏れが起こった時は、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

1. 主な特長

Hi-Performance & Hi-Quality（高性能・高品質）

- 「ノイズレス」「広帯域」非圧縮RFデジタル伝送技術を採用。
- φ50の大口径振動板ヘッドホンユニット採用。

User-Friendly（使い勝手）

- バッテリー消費を防ぐ自動電源ON/OFF機能を搭載。

Comfortable（快適）

- 20 %の軽量化※1と低重心化を施した快適ヘッドホン。
- バックスキンの風合いで蒸れやベタつきを抑える快適イヤーパッド。
- 耳に優しく柔軟なフィット感、デュアルスタビライズドハンガー採用。

※1：SE-DIR2000Cのヘッドホンとの比較

2. 製品の構成を確認する

本機をお使いになる前に、すべてそろっているかご確認ください。

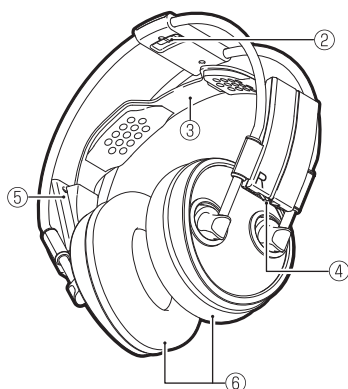
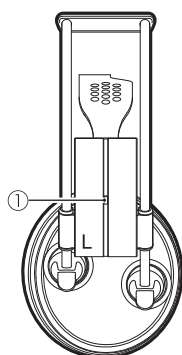
■ ヘッドホン

■ 専用充電式リチウムイオン電池
※ヘッドホン本体にセットされています。

■ 取扱説明書（本書）

■ 保証書

■ サービス窓口のご案内

3. 各部の名称とはたらき

①POWER(電源)インジケーター
ヘッドホンを頭に装着すると、点灯します。

②充電端子

③フリーアジャストバンド
頭にかけると自動的にフィットします。

④VOL（音量）つまみ、CH/IDボタン
VOL：音量を調整します。
CH/ID：電波の状態が悪くなったときや、ヘッドホンを増設するときに使用します。

⑤電池ケース
付属の充電式電池用の電池ケースです。
ネジを外してスライドさせるとフタが開きます。

⑥イヤーパッド

4. 専用充電式リチウムイオン電池を充電する

最初にお使いになるときは、必ず充電してください。
※付属の充電式電池は、出荷時はヘッドホン本体にセットされています。
詳しくは、SE-DRS3000Cの取扱説明書14〜15ページをご覧ください。

■ 充電時間の目安と使用可能時間

充電時間	使用可能時間
1時間	約3時間
3時間	約7時間

5. 充電時のご注意

● バッテリーは化学反応を利用しています。
周囲の温度の影響を受けやすいため、充電は極力10 ℃〜35 ℃で行ってください。
● 充電後はバッテリー部分が温かくなりますが異常ではありません。
● 本機に付属の充電式電池以外は使用しないでください。

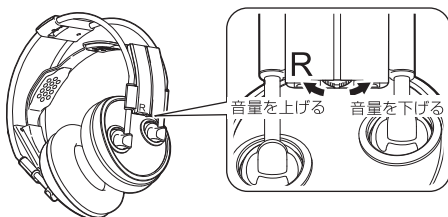
6. IDをヘッドホンに登録する

最初にお使いになるときは、必ずトランスミッターのIDをヘッドホンに登録してください。
詳しくは、SE-DRS3000Cの取扱説明書26〜27ページをご覧ください。

7. 使い方

本機は単体ではご使用になれません。SE-DRS3000Cのトランスミッターと組み合わせてお使いください。
詳細は、SE-DRS3000Cの取扱説明書をご覧ください。

1. ヘッドホンを頭にかける。
自動的に電源が入り、左ハウジング部のPOWERインジケーターが青く点灯します。

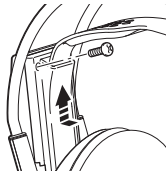
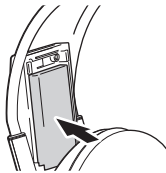
2. 音量を調整する。

ご注意
映画の場合、静かなシーンで音量を上げすぎると、爆発シーンなどの大きな音で耳を痛めることがあります。音量を上げすぎないでください。

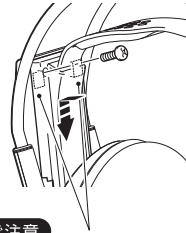
8. 電池を交換する

充電しても持続時間が極端に短くなった場合は、電池の寿命です。お買い求めになった販売店またはパイオニアサービスステーションにご相談ください。

1. 電池ふたを外す。

   プラスドライバーでねじ（1本）を外し、矢印方向にスライドさせて、電池ふたを外します。

   ※ プラスドライバーは同梱しておりません。市販のドライバーをご用意ください。

2. 専用充電式リチウムイオン電池を交換する。

3. 電池ふたを取り付ける。

   1と逆の手順で電池ふたを取り付けます。

ご注意

この部分にツメがあります。
電池ふたが浮かないように、ケース側に押し付けながらスライドさせてください。

9. 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、チェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。
また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のAV機器などもあわせてお調べください。
下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

症　状	考えられる原因と処置
音が出ない	● ヘッドホンのＰＯＷＥＲインジケーターが点灯するか確認してください。点灯しない場合は、充電式電池が消耗しているので充電してください。 ● ヘッドホンに電波が届いていない場合があります。下記を確認してください。 ① なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。 ② トランスミッターとヘッドホンの周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線や、電子レンジなどの機器が無いことを確認する。 ③ トランスミッターの位置を変える。 ● ヘッドホンの音量を上げてください。 音量を上げても聞こえないときは、音量を下げてから他の項目をご確認ください。 音量を上げすぎた状態で音が出ると、耳を痛めることがあります。 ● 増設したヘッドホンにトランスミッターのIDが設定されていない。

※ 上記点検項目と共に、システムの取扱説明書に記載されている項目もあわせて点検してください。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、ACアダプターを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作する場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

10. 使用上のご注意

ヘッドホンについて

・ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
・雑音の多い所では、音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
・耳を刺激するような音量で長時間聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

イヤーパッドについて

ヘッドホンのイヤーパッドは布製ですので、整髪剤の種類などによっては色落ちする場合があります。

お手入れのしかた

機器の外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げを傷めるので使わないでください。

取り扱いについて

● ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど、強いショックを与えないでください。故障の原因になります。
● 各機器を分解したり、開けたりしないでください。

設置について

● 次のような場所には置かないでください。
・窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、および暖房器具の近くなど温度が非常に高い所。
・ほこりの多い所。
・ぐらついた台の上や傾いた所。
・振動の多い所。

異常や不具合が起きたら

● 万一異常や不具合が起きたり、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店、またはパイオニアサービスステーションの窓口にご相談ください。
● お買い上げ店、またはサービス窓口にお持ちなる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターを一緒にお持ちください。

11. 保証とアフターサービス

保証書（別添）	保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。 **保証期間は購入日から1年間です。** 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
修理に関するご質問、ご相談は	お買い上げの販売店、または最寄りのパイオニアサービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「サービス窓口のご案内」をご覧ください。
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づいて修理いたします。
保証期間が過ぎているときは	修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。
連絡していただきたい内容	・ご住所・お名前・お電話番号・製品名・型番・ご購入日 ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

12. 仕様

■ヘッドホン SE-DHP3000

再生周波数帯域‥‥‥10 Hz〜24 kHz
電源‥‥‥‥‥‥‥‥ DC 3.7 V（付属充電式電池）
質量‥‥‥‥‥‥‥‥ 約350 g

■付属品

専用充電式リチウムイオン電池×1*
取扱説明書×1
保証書×1
サービス窓口のご案内×1

* 電池はヘッドホン本体にセットされています。

●本機の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

電波に関するご注意

■ 機器認定について

本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

・ 分解／改造すること。

・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

また、本機は日本国内のみで使用できます。

■ 周波数について

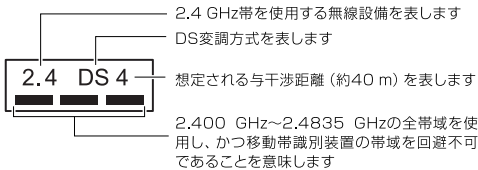
本機は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。

● 周波数表示の見かた（本機底面の証明ラベルに記載）

2.4 GHz帯を使用する無線設備を表します

DS変調方式を表します

想定される与干渉距離（約40 m）を表します

2.400 GHz〜2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動帯識別装置の帯域を回避不可であることを意味します

この周波数の電波は、いろいろな無線機器が使用しています。次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、受信ができなくなる場合があります。

● 同じ周波数帯（2.4 GHz）を利用する無線通信機器であるBluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります）

● ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります）

● テレビにノイズが出た場合、トランスミッターがテレビ、ビデオ、BSチューナー、CSチューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。トランスミッターをアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

本機の使用する周波数帯域（2.4 GHz）では、無線機器Bluetooth、無線LAN、また電子レンジなどの機器の他、工場、製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する）および、特定小電力無線局が同じように利用されて運用されています。

本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波障害の事例が発生した場合、すみやかにその場で本機の使用を中断してください。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>

「0120」で始まる フリーコール および フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。

また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜〜金曜9:30〜18:00、土曜・日曜・祝日9:30〜12:00、13:00〜17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■ フリーコール 0120−944−222　■一般電話　03−5496−2986

■ファックス　03−3490−5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://pioneer.jp/support/ctlg.html

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか

・ACアダプターが異常に熱くなる。

・ACアダプターにさけめやひび割れがある。

・電源が入ったり切れたりする。

・本体から異常な音、熱、臭いがする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

パイオニア株式会社 〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

Printed in China〈WRA1106-B〉